

## ② 第2回アンケートの調査結果



# 1 定住状況について

## 1-1 居住年数

◎<長期居住者>が 35.8%、<中期居住者>が 40.3%

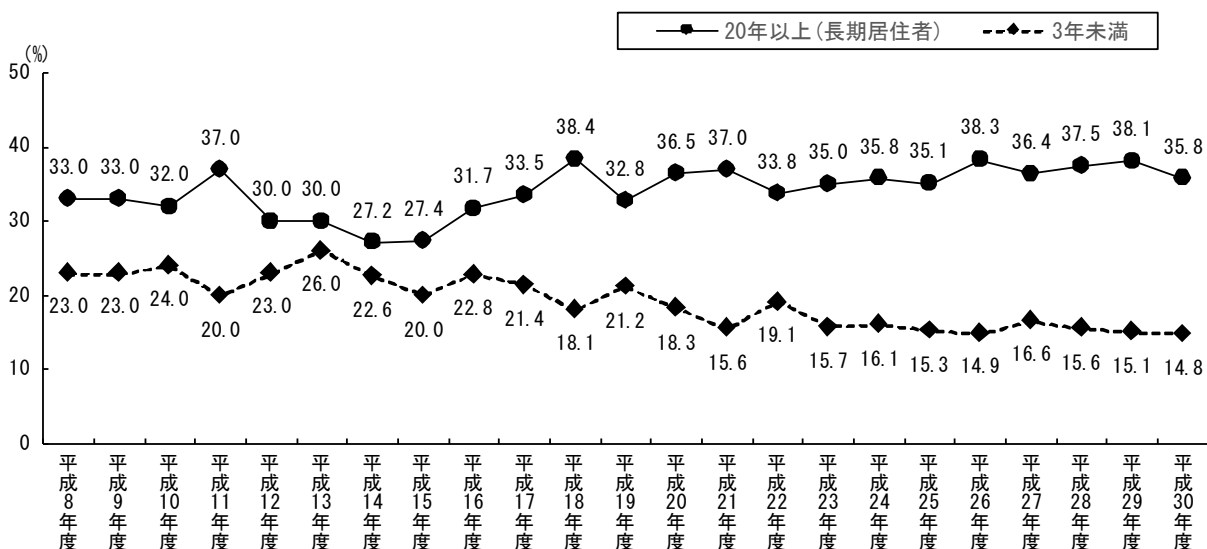
問1. あなたは、今のところにお住まいになって、何年になりますか。(〇は1つ)

図表 1-1 居住年数



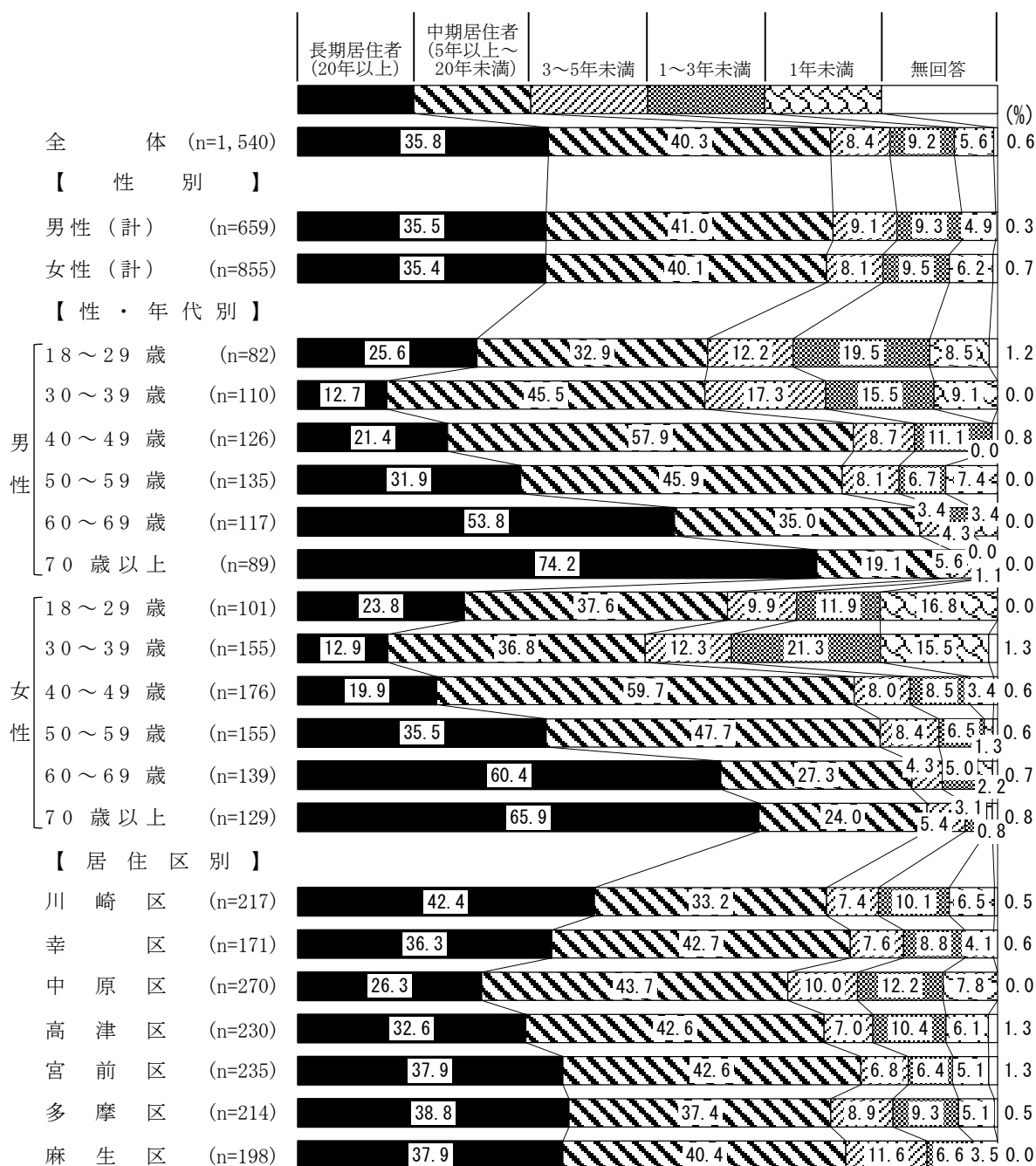
居住年数「20年以上」の<長期居住者>は 35.8%、「5~20年未満」の<中期居住者>は 40.3% となっており、5年以上の居住者が 8割弱を占めている。

図表 1-2 居住年数 (経年比較)



過去の推移では、10年前(平成20年度)と比較すると、<長期居住者>は 36.5%から 35.8%へと推移している。「3年未満」は、18.3%から 14.8%と 3.5ポイント減少している。「20年以上」と「3年未満」の割合の差は、10年前の 18.2ポイントに対し、21ポイントと増加している。

図表1-3 居住年数(性/年齢別・居住区別)

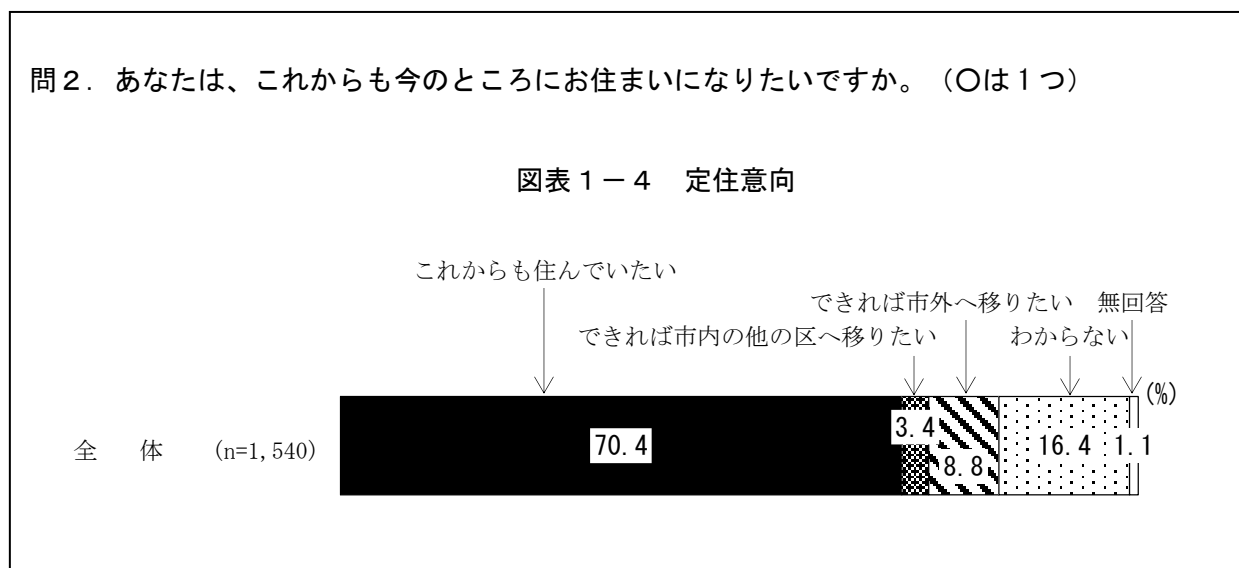


性/年齢別では、5年未満の短期居住者は、男女ともに18～29歳、30～39歳で高い。

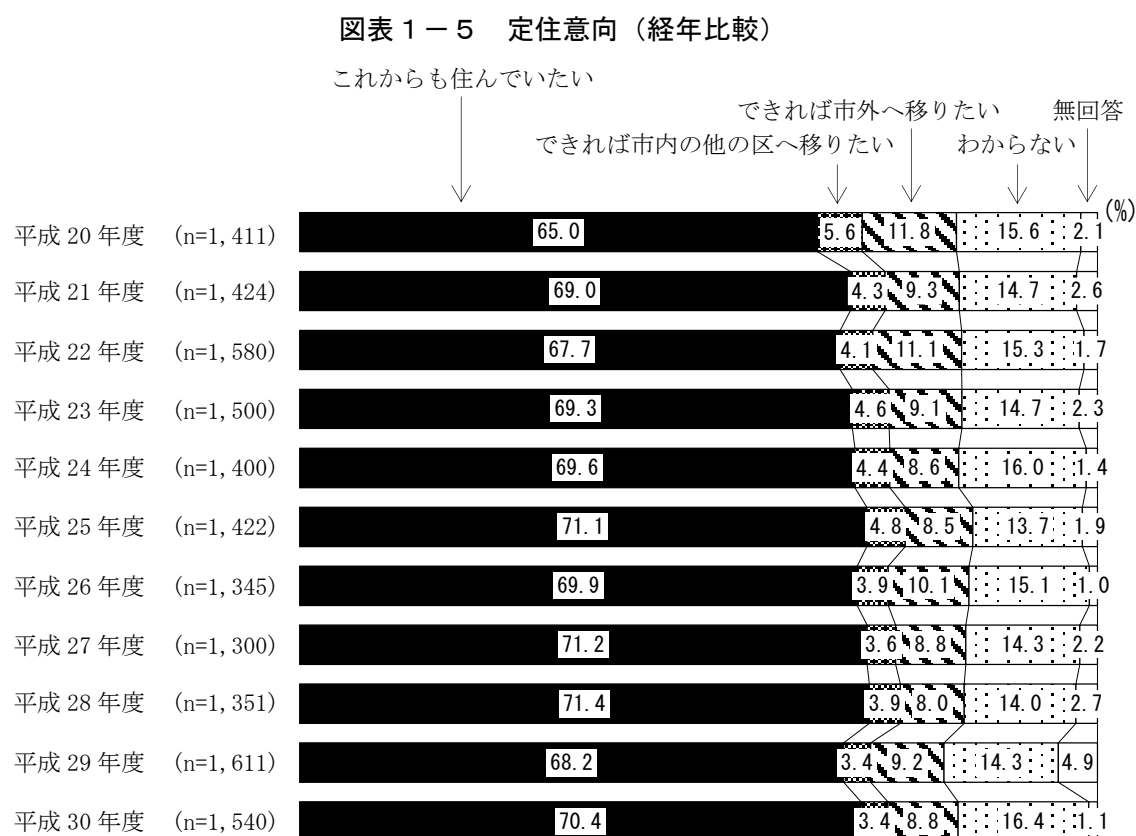
居住区別では、＜長期居住者＞は、川崎区(42.4%)が最も高く、多摩区(38.8%)、宮前区と麻生区(ともに37.9%)と続き、最も低いのは中原区(26.3%)となっている。一方、＜中期居住者＞は、中原区(43.7%)が最も高く、次いで、幸区(42.7%)の順となっている。「3年未満」は、中原区(20.0%)で最も高く、次いで、川崎区(16.6%)の順となっている。

## 1-2 定住意向

◎「これからも住んでいたい」が70.4%

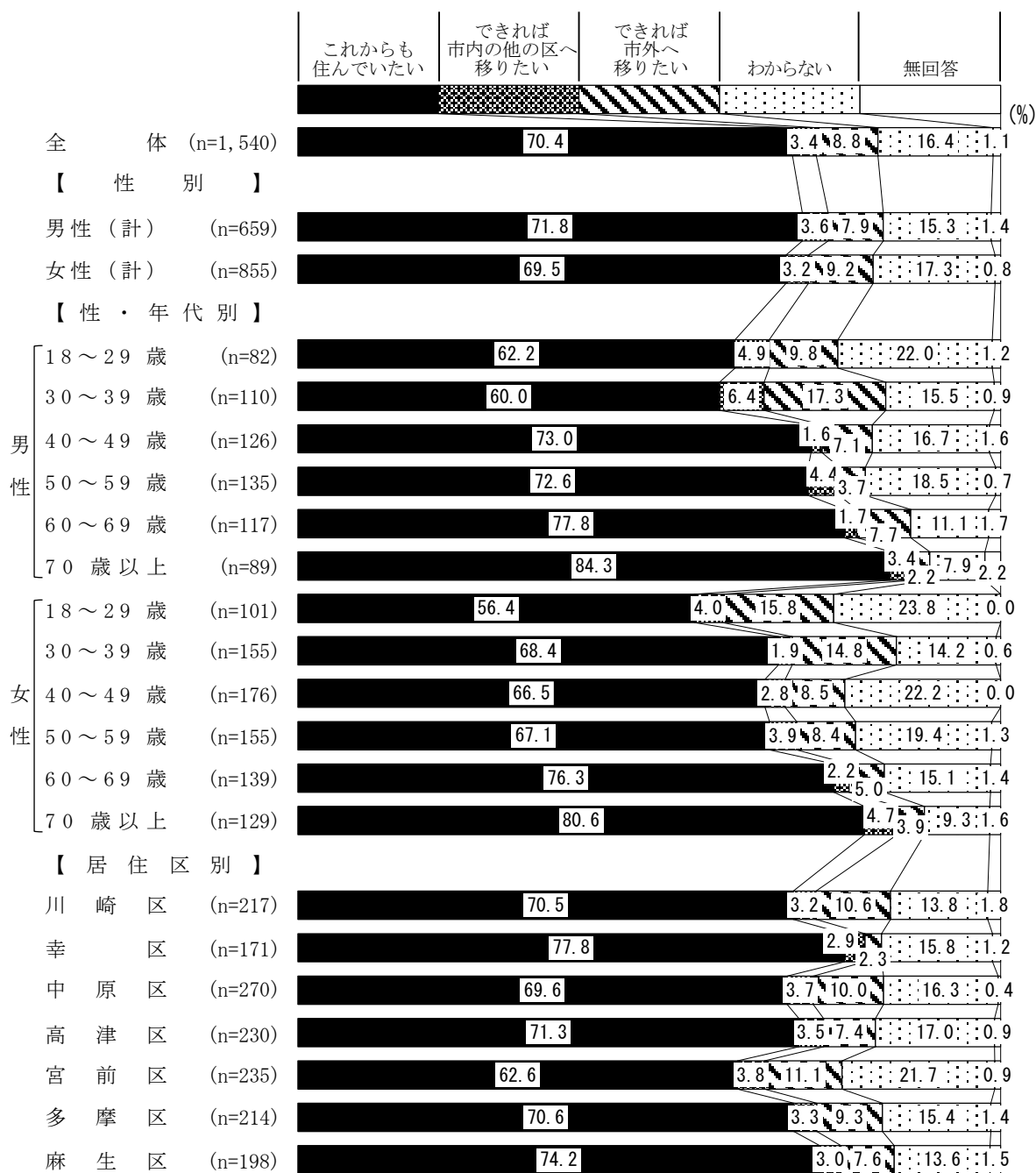


定住意向は、「これからも住んでいたい」(70.4%)が最も高く、「できれば市内の他の区へ移りたい」は3.4%、「できれば市外へ移りたい」は8.8%となっている。



この10年間において「これからも住んでいたい」は、70%前後での推移となっている。

図表1-6 定住意向(性/年齢別・居住区別)



性/年齢別では、「これからも住んでいたい」は、男女ともにおおむね高い年代ほど高くなる傾向で、男女ともに70歳以上(男性:84.3%、女性:80.6%)が最も高くなっている。

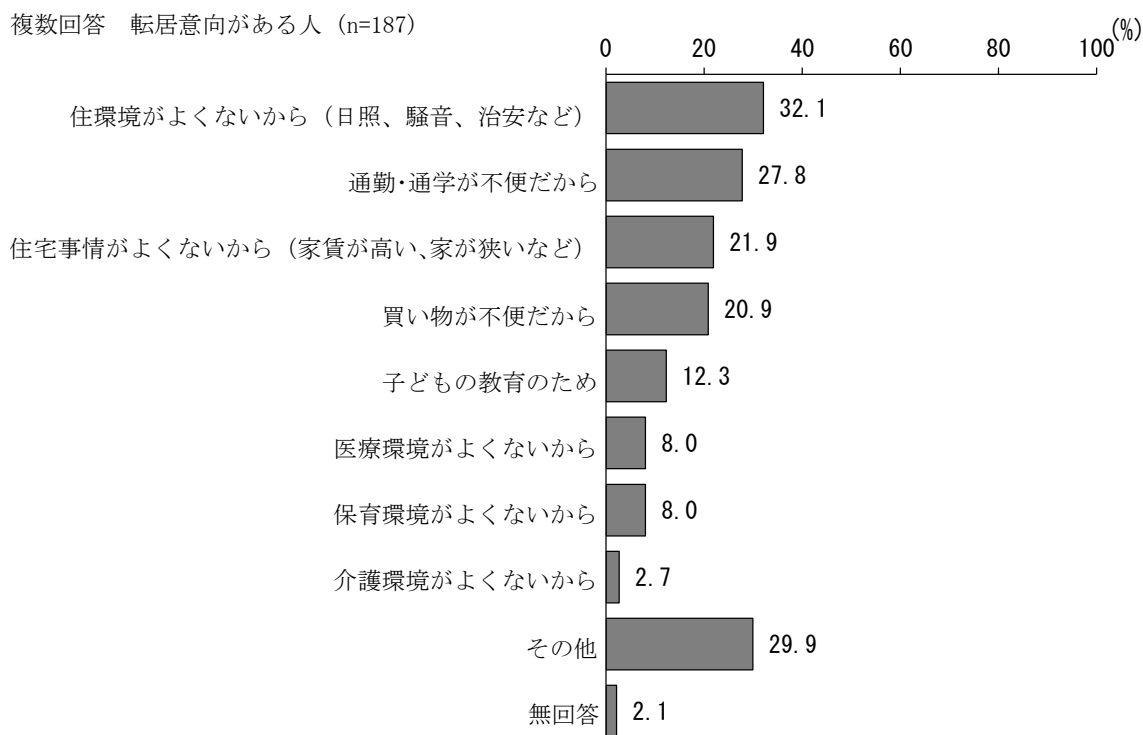
居住区別では、「これからも住んでいたい」は、幸区(77.8%)で最も高く、次いで、麻生区(74.2%)、高津区(71.3%)の順となっている。

### 1-3 転居意向の理由

◎「住環境がよくないから（日照、騒音、治安など）」が32.1%

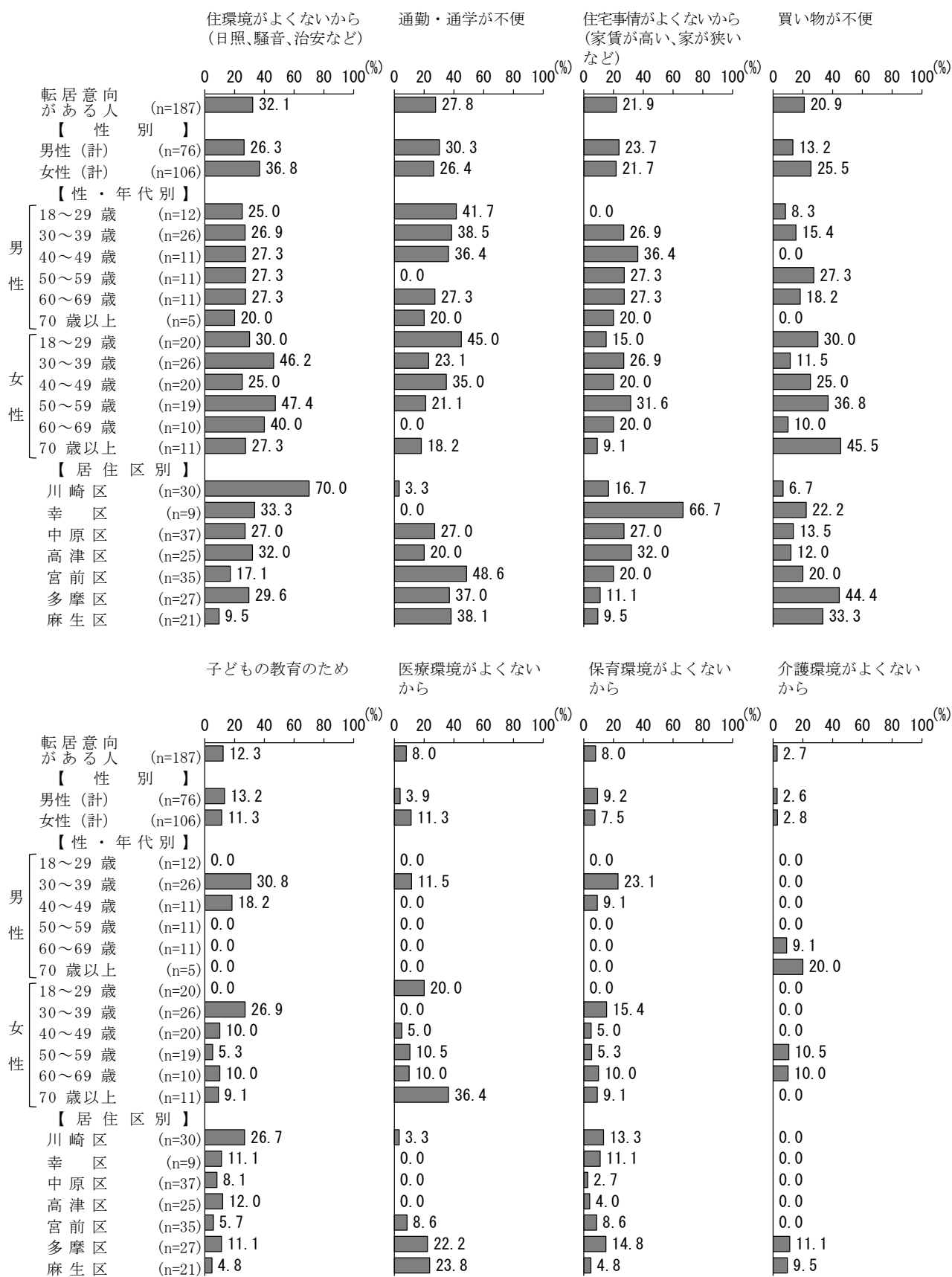
問3. あなたが、今のところから移りたい、または移る理由は何ですか（〇はいくつでも）

図表 1-7 転居意向の理由



「できれば市内の他の区へ移りたい」と「できれば市外へ移りたい」を合計した<転居意向がある人>に転居意向の理由を聞いたところ、「住環境がよくないから（日照、騒音、治安など）」（32.1%）が最も高く、次いで、「通勤・通学が不便だから」（27.8%）、「住宅事情がよくないから（家賃が高い、家が狭いなど）」（21.9%）の順となっている。

図表1-8 転居意向の理由(性/年齢別・居住区別 上位8項目)



回答者数が少ないため、図表を参考程度にとどめる。

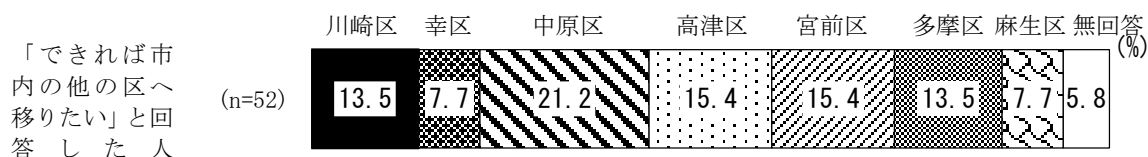


### 1-4 転居先の希望

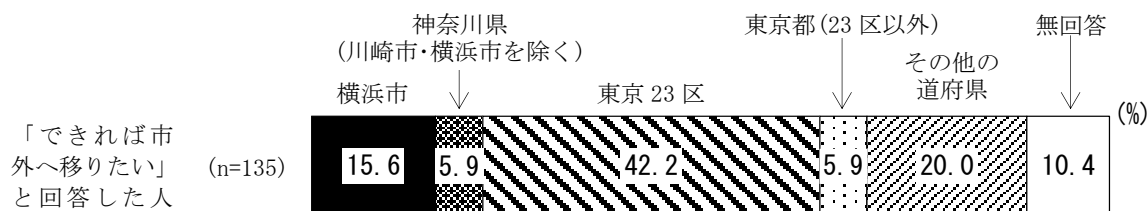
◎市内では「中原区」が21.2%、市外では「東京23区」が42.2%

問4. あなたは、どこに住みたいと思いますか。(〇は1つ)

図表1-9 転居先の希望(市内)



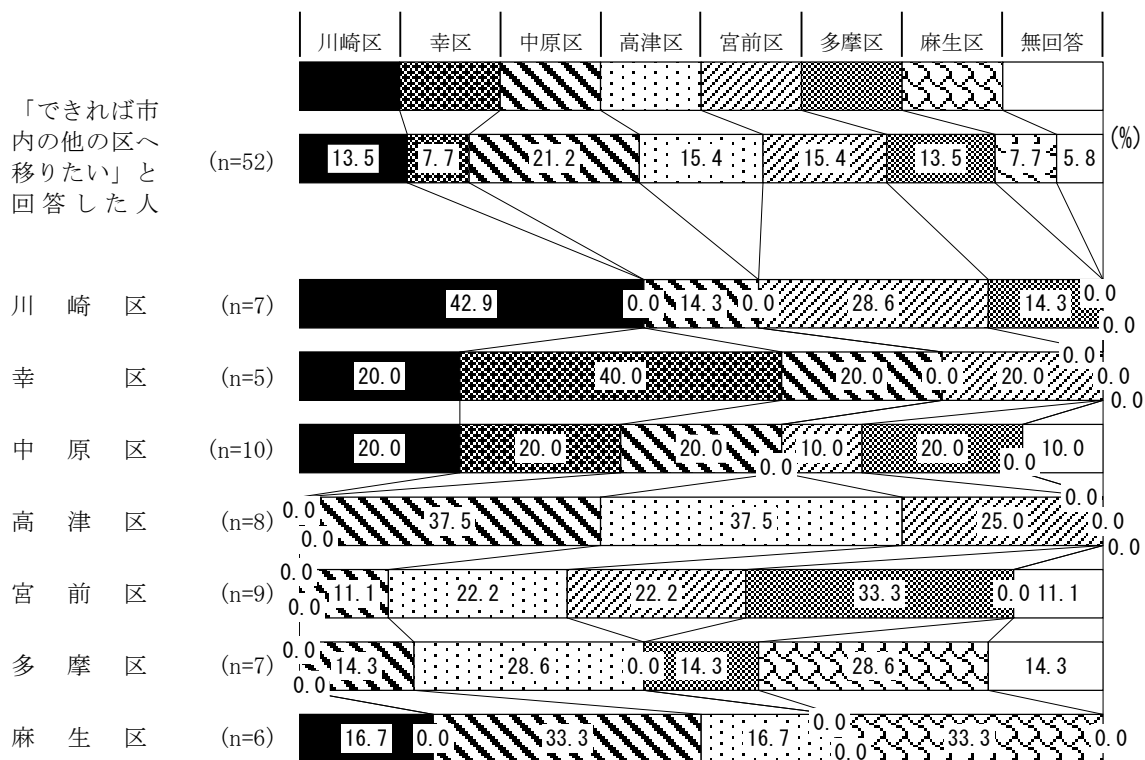
図表1-10 転居先の希望(市外)



転居先の希望(市内)では、「中原区」(21.2%)が最も高く、次いで、「高津区」と「宮前区」(ともに15.4%)の順となっている。

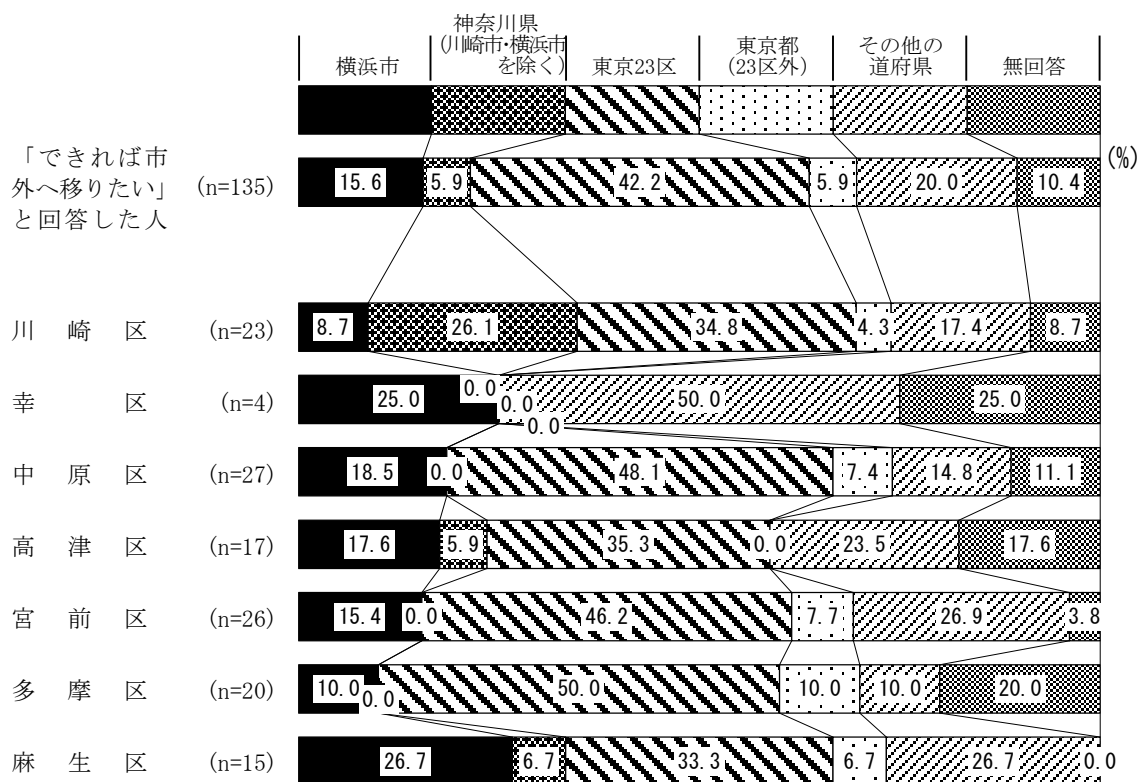
転居先の希望(市外)では、「東京23区」(42.2%)が最も高く、次いで、「その他の道府県」(20.0%)、「横浜市」(15.6%)の順となっている。

図表 1-11 転居先の希望 (市内、居住区別)



回答者数が少ないため、図表を参考程度にとどめる。

図表1-12 転居先の希望（市外、居住区別）



回答者数が少ないため、図表を参考程度にとどめる。